to the

東北の復興・新生を私たちの手で

復興大学

学都仙台コンソーシアム

Future

東北の復興・新生を目指して

復興大学では、学都仙台コンソーシアムが行ってきた単位互換やサテライトキャンパス公開講座等の取組みを発展させ、災害復興を念頭に置いた人材育成の新たな教育の仕組みとして、被災地に存在する高等教育機関、仙台市、宮城県、並びに県内の自治体等と協力して4つの事業を推進し、未曾有の大震災からの復興に寄与します。

復興大学開設に際して

学都仙台コンソーシアム会長　**井上　明久**
（東北大学総長）

東日本大震災被災地の中心である宮城県の国公私立の全ての高等教育機関が参加する学都仙台コンソーシアムに、この度「復興大学」をスタートさせることになりました。

コンソーシアムの目的は、高等教育機関に蓄積した知を活用して地域の発展に貢献することであります。教育・研究を本来の目的とする大学等が連携・協力することにより、この大災害に際し、人材育成と技術支援を通して被災地の復興に貢献できると信じています。

コンソーシアム参加メンバーの御協力をお願いし、この事業の成功をこころから願っています。

復興大学事業代表　**沢田　康次**
（学都仙台コンソーシアム運営委員長　東北工業大学学長）

「復興大学」は、大震災直後、仙台学長会議が復興の担い手となる青年に対して大学等高等教育機関が出来ることは何かを問い、学都仙台コンソーシアムで実施案を立案し、最終的に文部科学省の大学復興センター構想の一つとして承認されたものです。

「復興大学」は、「復興人材育成教育コース」、「教育復興支援」、「地域復興支援ワンストップサービス・プラットフォーム」及び「災害ボランティアステーション」の4事業からなります。4事業の責任大学は、コンソーシアムの全ての参加校が地域の復興を願い、これらの事業に積極的に参加できるよう、運営することになっています。

これまでの準備期間からやっと「復興大学」開講の運びとなりましたが、これからの長い復興の道程の始まりに過ぎません。新しい試みにはつきまとう多少の戸惑いや困難を乗り越え、学都仙台コンソーシアム参加校が手を合わせ、深く傷ついた私たちの東北地方のリーダーを育成し、大学間ネットワークによる技術支援・ボランティア情報交換を通して復興に是非とも貢献しようではありませんか。

復興人材育成教育コース

目 的 地域の復興に関わりつつ学び、コースを修了したうえ各大学を卒業した後、地域の復興支援さらには日本社会全体の新生を担うリーダーとして活躍できる人材を育成する。

事業内容

復興の思想から政治、経済、生活構築等までの、普遍的に応用可能な幅広い教育内容を実施することにより、人間・社会・技術などに関する重要テーマの基本的素養と広い視野を育成するとともに、座学のみでなく現場でのフィールドワーク、復興をめぐる学生同士の議論等を取り入れる中で、社会の諸課題に主体的に取り組む姿勢をも涵養する。

事業計画 平成23年度は、学都仙台コンソーシアムで開講しているサテライトキャンパス「講座仙台学」を活用し、そのテーマと内容について本コース科目のエッセンスを取り入れた一般市民・学生向け「公開講座」を実施する。
平成24年度は、コンソーシアム加盟大学の“学生”を対象とした、教育コースを開講する。コース科目は、復興の政治学・復興の経済学・復興の社会学・復興の思想・復興のための生活構築学・復興の科学技術の6科目を提供し、各科目の単位は、学都仙台コンソーシアムの単位互換制度に基づき、所属する大学の取扱に応じて所属大学において単位認定を行う。

教育復興支援

目 的 甚大な被害を被った宮城県の教育の復興に向け、県内の児童・生徒の確かな学力の定着・向上及び現職教員の支援を中・長期的視点に立って実施する。

事業内容

宮城県教育委員会、仙台市教育委員会等との連携のもと、学都仙台コンソーシアム加盟大学、国立教員養成系大学・学部とも連携・協働しながら、教育現場のニーズに対応した支援を実施する。
具体的な活動としては、学生ボランティアを活用した学校での児童・生徒への学習支援、授業中や放課後の教員補助、子どもや教員・保護者への心のケア支援、現職教員等を対象としたセミナーの企画・実施、教育委員会や学校等の依頼に基づく各種研修会や説明会への講師派遣を実施する。

事業計画 宮城県教育委員会、仙台市教育委員会等との連携のもと、被災地域の教育委員会や各学校の支援ニーズの調査や情報収集を行う。それらの支援ニーズに基づき関係機関との調整を行い、学習支援や教員補助等の学校支援、教育復興に関わるセミナーや講習会等を実施する。

地域復興支援ワンストップサービス・プラットフォーム

目 的 被災した企業・団体の活動再開に必要とされる支援・サービスを実施し、被災した方々と共に、震災復興の障害となっているさまざまな課題解決に当たる。

事業内容

ワンストップサービスのプラットフォームを仙台と石巻地区に設置。コーディネーターによる地域巡回訪問などの「出前サービス」を実施し現状把握と課題抽出を行う。被災地域企業の復興、水環境調査支援、地域景観・まちづくり支援、商店のマーケッティング支援、水産業の復興支援、仮設住宅の環境支援、インフラ整備に関する提言、協調型社会の促進支援等、必要とされる支援・サービスをコンソーシアム加盟団体の各々の得意分野で分担しながら実施する。また、現場実学の場として学生参加が有効な場合は積極的にサポートする。

事業計画 出前サービスや相談業務により、被災した地域企業や自治体等の現状把握と課題抽出を行い、テーマに応じた大学教員とのマッチングを図り、大学・高専等から課題解決に向けた支援・提言を行う。

災害ボランティアステーション

目 的 被災地支援活動における様々なミスマッチを低減させると同時に、地域間連携と地域内連携をつなぐ仕組みの実現に向けた復興支援センター的機能をもつネットワーク組織の構築を行う。

事業内容

被災地支援活動におけるミスマッチ低減のため、これまで東北学院大学が中核となって実施してきた、ネットワーク参加大学（青山学院大学、他13大学）間の地域間連携と、学都仙台コンソーシアム加盟機関の間の地域内連携を効果的に接続するネットワークを構築する。また、ボランティア活動参加学生、指導教職員等を対象に、自ら適切にニーズを把握する能力や適切な活動スキルを適用する能力等の育成のため、ネットワーク参加大学の共同研修プログラムを開発し、実施する。そのほか、本事業で構築したネットワークおよびその運用方法を記録し、自覚的に体系化してモデルを提示する。

事業計画 被災地でのボランティア需要把握、各大学・自治体・NPO等が把握している需要と提供可能活動のマッチング、支援活動実施機関の間での共同研修等、を実施するための情報ネットワーク、ボランティア活動参加希望学生と需要のマッチングを適切に考慮しながら募集情報を発信できるシステム、等を構築するための準備活動をおこなう。

復興大学に期待を寄せて

“学都”の力を復興のために

仙台市長　奥山　恵美子

東北一円に未曾有の被害をもたらした東日本大震災からの復興に向け、仙台市は震災復興計画を策定し、いよいよ復興に向けた取り組みを軌道に乗せ、さらにスピードアップを図る段階へと来ております。

これと機を同じくして、この仙台で“復興大学”が始動し、仙台・東北の復興に向けた新たなエンジンが加わることを心より歓迎致しております。

多くの大学、教員、学生、知識が集積する“学都仙台”の持つ底力、そしてこれを土台とし、産学官による共同体である学都仙台コンソーシアムは、私たちにとってとても心強い存在です。“学都”の力を活かし、仙台のみならず、東北全体の復興が図られますよう、本市も“復興大学”の取り組みをしっかりとサポートしてまいりたいと考えております。地域のあらゆる知と力を結集し、一丸となって、一日も早く復興を実現しましょう。

ふるさと宮城の再生に向けて

宮城県知事　村井　嘉浩

宮城県では、学都仙台コンソーシアム関係機関を始め、全国の皆さまの多大なるご協力をいただきながら、県民の安全・安心の確保、社会基盤の復旧、産業活動の再開に向けた支援など、復旧・復興に向けた歩みを進めてきました。平成23年10月には、今後10年間の復興の道筋を示す「宮城県震災復興計画」を定め、未曾有の大災害からの復興を成し遂げるための様々な取組を、一段と加速しているところです。

この「ふるさと宮城の再生」を迅速かつ確実に進めていくためには、復興を力強くリードする人材が必要不可欠です。復興大学は、地域の復興に必要なリーダーの育成を目的とされており、まさにその要請に応えるものであります。

復興大学の開設と、ここに集い、学ばれる学生諸君に、大いに期待しております。

参加校・団体

- 石巻専修大学
- 尚絅学院大学
- 聖和学園短期大学
- 仙台白百合女子大学
- 仙台青葉学院短期大学
- 仙台大学
- 東北学院大学
- 東北芸術工科大学
- 東北工業大学
- 東北生活文化大学
- 東北生活文化大学短期大学部
- 東北大学
- 東北福祉大学
- 東北文化学園大学
- 東北薬科大学
- 放送大学 宮城学習センター
- 宮城学院女子大学
- 宮城教育大学
- 宮城誠真短期大学
- 宮城大学
- 仙台高等専門学校
- 仙台観光コンベンション協会
- 仙台商工会議所
- 東北多文化アカデミー
- 社団法人みやぎ工業会
- 理化学研究所
- 宮城県
- 仙台市

お問い合わせ先

「復興大学」全般に関するお問い合わせ先

東北工業大学　復興大学事業事務担当（新技術創造研究センター）
TEL 022-305-3818　E-mail：taniguti@tohtech.ac.jp

各事業に関するお問い合わせ先

復興人材育成教育コース
東北大学　復興人材育成教育コース事務担当
（教育・学生支援部教務課）
TEL 022-795-3924・3925
E-mail：kyom-fukko@bureau.tohoku.ac.jp

地域復興支援ワンストップサービス・プラットフォーム
東北工業大学　地域復興支援ワンストップサービス・プラットフォーム事務担当（新技術創造研究センター）
TEL 022-305-3815・3801　E-mail：s-center@tohtech.ac.jp
石巻専修大学　地域復興支援ワンストップサービス・プラットフォーム事務担当（開放センター）
TEL 0225-22-7716　E-mail：kaiho@isenshu-u.ac.jp

教育復興支援
宮城教育大学　教育復興支援事務担当
（研究・連携推進課連携推進係）
TEL 022-214-3640
E-mail：renkei@adm.miyakyo-u.ac.jp

災害ボランティアステーション
東北学院大学　災害ボランティアステーション事務担当（学長室事務課）
TEL 022-264-6424
尚絅学院大学　災害ボランティアステーション事務担当
（エクステンションセンター）
TEL 022-381-3315　E-mail：extension@shokei.ac.jp

Waterless Printing. Naturally.
VEGETABLE OIL INK
表紙写真提供：仙台市観光交流課
2011.12 発行